

まちかど ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの地域
の話題を中心にお届けします。お

便りや出来事を広報広聴課☎51-
0123内線2822へお寄せください。

市長への 手紙から

道路工事が偏らないように できないでしようか。

このコーナーでは「市長への手紙」の中
から、提言などを紹介します。今回は市政
モニターの水本ユキさん（今泉）のお便り
を紹介します。

〈市長への手紙〉

毎年九月ころから年度末にかけ
てあちらこちらで道路工事を見か
けます。そのために交通渋滞とな
り事故も多いです。運転する人は
イライラしてくるとよく聞きます。
ですから、この様に道路工事が
偏らないようにはできないでしよ
うか。また、交通量の激しい場所
は、夜間一気にやってくれる業者
に入札させるとか、とにかく市民
の安全生活を守るためにも、よく
考えていただけないでしょうか。
なお、昼間の工事で、交通整理
のためのガードマン等が十分に
ない現場があります。中には非常
に危険な現場もあります。これら
のことも十分な監視をお願いします。



△工事にもいろいろな種類が



水本ユキさん

できる限りの調整を

〈市長の答え〉

市内の道路工事は、年間をと
して各課が市民の皆さんからの要
望や陳情または、計画改良等を踏
まえて予算を立て、工事の発注を
行っています。ただ、国・県の補
助金のある工事については、交付
決定が例年八月ごろになり、そ
れから工事にかかるということもあ
ります。

一口に道路工事と申ししましても、
まさに道路工事から、上下水道の
埋設工事、河川工事に伴う道路工
事、また、民間事業による電気・
電話線の工事など多種多様です。
これらの事業に伴い、警察と関
係機関との調整会議を開き、でき
る限り同一箇所での工事は一緒
に行うよう調整を行っています。

また、夜間の工事は、作業員の
問題、経済性、周辺住民への迷惑
などから非常に難しいことと思わ
れます。したがって、昼間工事に
おいて、ガードマンなどに一層の
指導の充実を図りたいと思います。

わいわい広場

まちかどネット

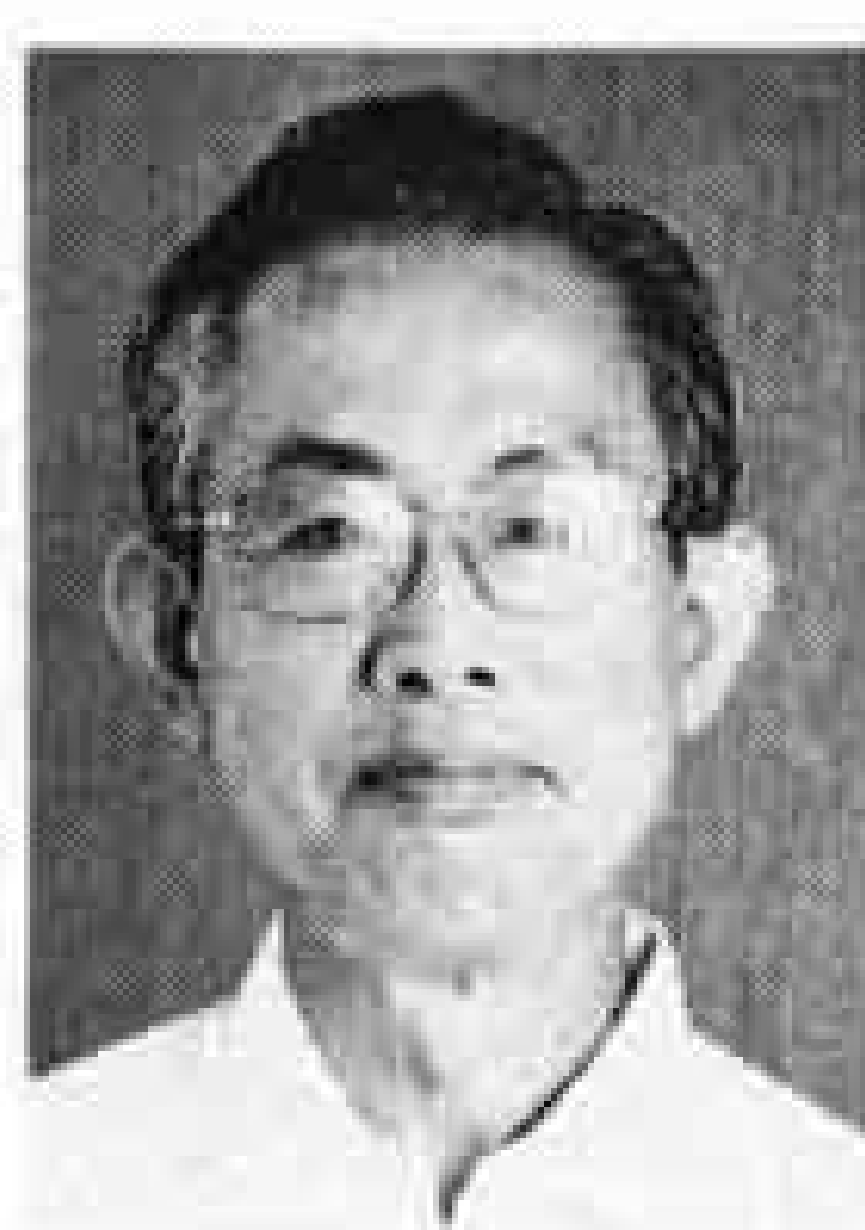
ワーカーに五人

広報ふじの地域通信員ともい
える「まちかどネットワーカー」
を募集したところ、次の方々か
ら応募がありました。これから
一年間、地域の話題の提供者と
して活躍していただきます。



桜井 啓さん
(厚原)

「以前、市政モニターなどをし
て勉強になったので、自分の勉
強と申して応募しました」



立川 明さん
(中島)

「広報ふじも最近変わってきた
なと思っていたところです。高



田島 浩さん
(宮島)

齢化社会に興味があります」

「タウン誌の編集に携わってい
ます。新たなネットワークづく
りが楽しみです」



小笠原久美子さん
(伝法)

「応募の決心をするのに一週間
かかりました。皆さんと愉快に
やりたいと思います」



小長井 幸恵さん
(石坂)

「地域で幼稚園就園前の子供を
集めて活動をしています。務ま
るか心配ですが、がんばります」

第10回日本ジャンボリーに参加



△左から田島さん、内田さん、高村さん

ジャンボリーといえば、四年
に一度のボーイスカウトのお祭
り。開催年に当たることは、
八月三日から七日まで新潟県の
妙高高原を会場に、全国から三
万三千人が一堂に会します。内
田和義さん(中野)、高村賢一さ
ん(富士見台)、田島弘光さん
(川成島)の三人は富士市から
の参加者百二十人のリーダー。
「子供たちによい思い出を」と
準備に張り切る姿の姿です。